

—市民と学生の対話から生まれる学び—

市民参加型科目



TOYOHASHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY
MULTICULTURAL
CAMPUS PROJECT
TOWARD SOCIAL IMPACT

プレイベント

市民参加型科目×哲学対話

「イライラってなんだろう？」

市民参加型科目とは：

学生と市民と一緒に学び、
新しい発見を楽しむ科目

- 学生と市民と一緒に学ぶ
- 世代や立場を超えた交流
- 新しい気づきや学びが得られる
- 大学と社会をつなぐ



2026年度から新たに開講！

学生の授業に市民が参加し、ディスカッションを通して学びを深めます。
学生は社会の視点を、市民は若い考え方に触れながら、新しい気づきを得ることができます。

2026年1月23日(金)

時間 13時～14時

場所 豊橋技術科学大学 図書館1階
豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

参加費 無料

定員 10名程度（先着順）

お申込みは
こちらから



申込日 1.21(水)

主催・お問い合わせ

豊橋技術科学大学 教務課ソーシャルインパクト創出支援事務室



tut-social@office.tut.ac.jp



https://www.tut.ac.jp

「イライラってなんだろう？」

市民参加型科目×哲学対話

本イベントでは、哲学対話の手法を使って「イライラ」の本質を探究していきます。

哲学の知識は不要！初心者大歓迎！誰でも参加できます！

哲学対話とは、「どうしてだろう」「なぜそう思うのだろうか」といった問いをもとに、参加者全員でじっくり話し合いながら考えを深めていく活動です。

市民の方と学生が、それぞれの立場や経験から意見を交わすことで、互いの考え方の違いに気づき、新たな発見が生まれます。

本イベントでは、少人数の対話を行い、来年度から始まる「市民参加型科目」の魅力を実際に体験していただけます。



担当教員：岩内 章太郎 豊橋技術科学大学准教授

博士（国際コミュニケーション学）。

専門は哲学、哲学対話。「市民性」と「共生」をキーワードにして、幼児から大人までを対象に、全国各地で哲学対話を実施。著書に、『星になっても』（講談社）、『＜私＞を取り戻す哲学』（講談社現代新書）、『＜普遍性＞をつくる哲学』（NHK ブックス）、『新しい哲学の教科書』（講談社選書メチエ）、『現象学とは何か』（共著・河出書房新社）、『本質観取の教科書』（共著：集英社新書）など。

2026年度 市民参加型科目開講予定

前期 2026年4月～2026年7月

前期開講予定科目

- 国文学特論Ⅱ
- コミュニケーション原論

募集要項・授業詳細はこちらから



申込期間

2.16日-3.16日

後期 2026年10月～2027年2月

後期開講予定科目

- 哲学対話論
- 産業技術政策
- 哲学特論Ⅱ
- マーケティング論

 **予告 | 話して、聞いて、考える“対話する図書館”**

哲学対話の手法を使った、参加型イベントを2026年度企画